



NO. 905
 発行
 2017年
 2月20日
 国鉄労働組合
 新潟地方本部
 発行責任者
 齊藤 仁司
 編集責任者
 教 宣 部



全体が一步前へ進める

第34回東日本本部 拡大委員会開く



国労東日本本部・第34回拡大委員会が2月5日、東京都港区交通ビル会議室で開催されました。12名の委員から組織拡大、職場の労働条件、地域の闘いなど発言がありました。

「国鉄新潟」では委員の発言を中心に編集、企画しました。拡大中央委員会と重複する内容もありますがよろしくお願ひします。

執行委員長のあいさつ・書記長集約については、エリア本部の機関紙など参照して下さい。

国労中央行動

3月1日

- 午前中は国会議員要請行動
- 14時から代々木公園で春闘総決起集会・全国キャラバン集約集会の開催



副議長に新潟地本 佐藤委員が選出



議長団の選出では、東京地本の星川委員が議長に、副議長には新潟地本の佐藤委員が選出されまし

全体の意見

○工作は委託化が拡大して直営の職場が減少している。部外委託が進んでいる。車両の投入について置き換え関連工事など明らかにしてきた。

新幹線の検修業務について東労



組は団交をしていない。国労だけが団交をしている。現場を第一に考えること。残された課題を追及していく。

有害物質について(けい砂)進捗状況はどうか。検査周期の延伸について、安全や労働環境を守ること。職協間の連携が重要だ。

17春闘・ひとり一要求。学習会を開催などで思いを共有する。現場長への要請行動や交渉で強化を図る。昨年の春闘行動で200名の組合員が結集した。職場の闘いをやりぬくこと。(仙台)

●要員不足で信号の職場は45時間の超勤が発生、勤務変更で対応している。

保線職場・事故が発生、退避誤りがあった。要員が足りないことや線路巡回の責任者が若年労働者に多量の責任がある。超勤の発生などある、適正要員配置が必要だ。要員獲得の闘いを進める。

関連会社へ要員が足りない。休み年休は取得できない。労働条件では定期昇給が無い。5年に1回だ。関連会社はJRからの委託料で賄っている。グリーンスタッフは5年以降は使い捨てになっている。



JRの職場に非正規から正規化へ。現場は大量の要員不足になっている。合理化によって利用者に対してもサービスの低下になっている。契約満了者は駅業務へ。情報を共有しながら取り組みを進める。

17春闘・貨物は17年連続ベア0だ。2月20日、全国キャラバン行動、3月14日は春闘行動。ストライキを背景に客・貨一体となった取り組みを。(東京)

○組織強化・拡大・12月10日、組合会議で意思統一を図った。活動について厳しい状況が報告された。分会と連携していく。関連会社社員がレクや労働講座などに参加している。関連会社の組織化を進めていく。組合費を活用してきた。職場の活動について財政支援を要請する。要員不足が続いている。駅は助役が未配置だ。職場の要員確保とエルダーの配置を。関連会社へ希望する社員など交流会を開催した。オルグの実施。エルダー社員の退職が増えている。労働強化になって



いる。労働条件の改善を求めていく。常磐線の工事・放射線線量、モニタリング、情報開示を。高線量区間について、安全体制、管理、健康管理など対策委員会を設置、取り組みを進める。福島学習交流会で現状について全体が共有、交流し現状を訴え確認した。郡山での交流会開催で全国発信していく。(水戸)

●駅の業務委託・関連会社に移管された。国労としての要求を提出した。交渉が出来るよう取り組んでいる。労安で職場の改善について話し合っている。会社側や東労組は、これに対して黙っていない。安全キャラバン・12月、1月に宣伝行動を実施した。ダイヤ改正について地域へ訴えた。市役所への要請

行動も展開した。地域、市民との共同行動を取り組んだ。2月21日に街宣行動を計画している。3月3日に春闘総決起集会を開催する。他労組の旗開きに出席した。闘いを学んだ。争議団などの取り組みや訴えがあった。怒りの大衆行動が必要だ。国労運動の訴え、グリーンスタッフ採用中止について交渉だけで解決できるか。(千葉)



沖縄特集 辺野古 2

埋め立ての土砂は全国から

辺野古沿岸部を埋め立てるために必要な砂利はダンブカー1360万台分！防衛省は、その砂利を沖縄県内だけでなく奄美大島や瀬戸内海、北九州などで採取しようとしています。心配なのは、採石による地域の環境破壊だけでなく、沿岸から土砂が



海に流入して漁業などへの被害が出る。また、遠く離れた場所から大量に土砂が運ばれることで外来種が導入され、生物地理学的にリスクがあることも指摘されています。国際自然保護連合(IUCN)は2016年8月、辺野古の基地建設で外来種対策を強化するよう日本政府に求める勧告案を賛成多数で採択しました。

辺野古に 行ってみよう！

辺野古では、多くの市民が非暴力で新基地建設工事に反対の意思を表

示しています。きれいな海や山を満喫しに行くだけでなく、沖縄戦を体験し「基地は絶対にいらない！」とからだを張るおじい、おばあの話を開きに行ってみませんか？
那覇から車で約1時間。高速バスを利用する場合は、那覇バスターミナルから「111」番に乗り、「世富慶」(よふけ)バス停で「77」番に乗り換えて「辺野古」下車。
また「島ぐるみバス」という大型バスも那覇ほかから出ています。
キャンプ・シユワブのゲート前デントは8時〜16時。辺野古にまつわるたくさん資料や写真が展示されています。

編集後記

今回、エリア本部・拡大委員会を特集しました。次号も続きます。各職場の活動状況を参考にして新潟地本の活動に生かしていきたいと思えます。
春闘行動の中で組織拡大行動の取り組みを全組合員で、できることから今年も5月のメーデーは統一メーデーを企画しています。県春闘共闘が中心に進めています。
会場は県民会館です。すべての労働組合・民主団体、全野党が結集します。

